

# ♪ ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

3月に宇久井半島で見られるなかまたち！



「シジュウカラ科 ヤマガラ」  
留鳥。全長 14cm。「ツツピー  
ツツピー」とゆっくり鳴きま  
す。人をあまり恐れません。



「メジロ科 メジロ」  
留鳥。全長 12cm。目の周りが白いこ  
とから名付けられました。ツバキの  
蜜やハゼの実が好物です。



「ホオジロ科 アオジ」  
留鳥。全長 16cm。スズメより  
少し大きく、「ツェツ」と短く  
強い声で鳴いています。



☆「ツバキ科 ヤブツバキ」☆  
園芸品種の基本種となっています。  
花の見頃とともに落ち椿の季節に  
なってきました。



☆「モチノキ科 クロガネモチ」☆  
常緑高木。直径 6mm ほどの赤い実  
をつけています。街路樹や庭木で  
よく目にします。



☆「ツバキ科 ヒサカキ」☆  
枝の下にたくさんクリーム色の小  
さな花をつけていて、独特な香り  
がします。ビジャコとも呼びます。



☆「スマレ科 タチツボスミレ」☆  
日本でもっとも身近に見られるスミ  
レです。ハート形の葉と、スッと立  
ち上がる姿が特徴です。



☆「キク科 オオジシバリ」☆  
タンポポに似ていますが、比べ  
ると花びらが少なく、葉の形も  
違います。



☆「キク科 セイヨウタンポポ」☆  
ヨーロッパ原産の帰化植物です。  
綺麗に咲いていますが、要注意  
外来生物に指定されています。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見える事もできますよ♪

ようこそ！ 吉野熊野国立公園 宇久井ビジターセンターへ♪

だんだんと寒さも緩み春を感じることができますね。

3月6日には冬眠している虫たちが動き始める啓蟄（けいちつ）を迎えます。

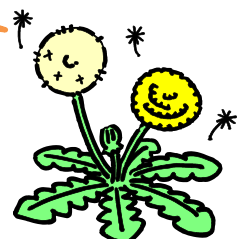
散策して鳥や虫、植物を観察しませんか(^0^)/

※ごみは持ち帰りましょう！

※畑に無断で入らないようにしましょう！

※植物や生き物を大切にしましょう！

2019年3月前半号  
宇久井ビジターセンター



# 吉野熊野国立公園 宇久井半島見どころマップ 春版

## ＜散策時間の目安＞

- ビジターセンター～地玉の浜コース (片道約15分)  
① → ② → ④ → ⑤ 約700m
- ビジターセンター～駒ヶ崎灯台コース (片道約25分)  
① → ② → ③ 約900m
- ビジターセンター～千尋の浜コース (片道約20分)  
① → ⑦ → ⑧ 約1200m
- ビジターセンター～外の取コース (片道約20分)  
① → ⑦ → ⑨ 約1200m



至 R42

## 自然観察の森

## 赤灯台

## 地玉(じこく)の浜

## 千尋の浜

(上地の浜)

## 松尾展望広場

## 外の取

フェリーターミナル方面  
通行できません

メジロ  
キシバト  
ヒヨドリ  
ウグイス

南紀勝浦  
休暇村

至休暇村

トベラ

カラスノエンドウ

オオシマザクラ

アカグミ

ヤブツバキ

ヤブツバキ群生地  
足元注意

木のすき間から  
海が見えます。

シロダモ

ホルトノキ

シロダモ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト

ハマナデシコ

ハマゴウ

ハマナタマエ

トベラ

ハマダイコン

ハマオモト